

平成27年5月10日

No. 131

〈決めるのは自分自身〉

引越して、資料も整理していたら、研修会の資料として、パナソニック創業者 松下幸之助の弟子であった木野親之助の経営問答が出てきました。その中で、松下幸之助の言葉「成功を邪魔するものは、自分自身だ。仕事は無限にある。小さい事も大事にして何事も成功するまでやり抜くんだ。僕は、頭も下げ下げやってきたんだよ」
「仕事も邪魔するものは自分自身の心の中にあるんだ。」常に自分の足を引っ張っているのは自分の心。自分自身が成功の足を引っ張っている。仕事はどんな小さい事でも命かけて取り組んで、途中で諦めたらいかん。もうこれでいいと手を抜いてはいかん」「子どもは我々手を抜くということも年をとるに従って覚えるですけど、松下幸之助は絶対手を抜かた功、たんどすね。どんな小さい事にでも、全身全霊も打ち込んでいた。」
「成功するまで続けなきゃいけない。自分が満足するまで、手を緩めない。最後のとどめを刺せということも散えてもらった。」
「僕は頭も下げ下げやってきたんだ。」「お客様に頭もペコペコ下げることでではなく、心の中で、本当にありがたい事だ、ありがたい事だ、ありがたい事だ。」
「単なるセールスマンがペコペコ頭も下げ卑屈になっての頭の下げ方ではなく本当に感謝して、心の中で下げ下げやってきたんだそれが松下幸之助の人生のすべてである。感謝・感謝・感謝という松下幸之助のバックボーンだった。」

目標を立てたり何かをしようと考えても、途中で諦めたり、めんどくさくなり、まっ、いいかでやめてしまいます。やる事も決めるのは自分自身です。まず、小さい事でもいいので、自分にとって必要なこと、出来る事、成功するまでやり抜く。次に新たなことやり抜く。例えばA株をお客様に、新高品もつくる、新しい技術も得る、時間がかかってもいいので、諦めず、やり抜く。やり続けられる環境に感謝する。原因・結果も自分自身である。

高林幸裕